

児童文学作家

杉山 亮氏

図書館ができて人も大勢来るとは限らない。建物は立派だが中はガラガラという図書館はいくらでもある。大切な事はそれ以前に物語を聞く機会をたくさん作る事

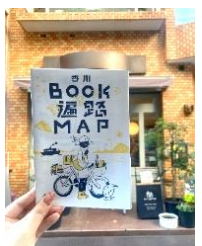
だ。本当の図書館がたつまでに日本中から達者な語り手に大勢来てもらい大人向き子ども向きのお話をたくさん開いてみんなで楽しみ（物語を聞くのはおもしろい、もっと聞きたい）という気運を育てるのが大切。それがあって初めて人は（本を読めばいつでも自分1人でもおもしろい物語の世界に行ける。本のある場がほしい、図書館がほしい）という気になる。そう思わない子には「本は字が多いだけのつらいもの。いらぬもの」になってしまう。お話をたくさん開きましょう。



いよ本プロジェクト

代表 岡田 有利子氏

それぞれの館長の個性が際立つ、まちじゅうにある小さなマイクロライブラリー。大きな公立図書館はないけれど、そんな「まちじゅう図書館」がある琴平町は魅力的な町ですね。特別な「非日常」ではなく、そこに住む人たちの「日常」に本があること。その一つひとつが個性を表現していること。住民から生まれるこの小さな力、そして個性豊かな力の結びつきが、私は大事だと思います。私は愛媛県伊予市で「いよ本プロジェクト」という本に関する活動を行っています。昨年夏、ことひらまちじゅう図書館を見学させていただきました。小さな身近な力がつながる「ことひらまちじゅう図書館」の力は、決して小さくはありません。これからも楽しみにしています。



BOOK 遍路をつくる会

しのはら あきひと氏

私たち「BOOK 遍路をつくる会」は、人と本をむすぶための活動を行っています。第一弾として香川BOOK 遍路MAPが2022年秋に完成し、県内はもとより全国に向けて配布が始まりました。懇意にしている書店の方から、琴平で面白いことが起こっていると聞いたのがきっかけで、ことひらまちじゅう図書館も掲載させていただいています。当たり前だと思っていたことが当たり前でなくなってきた時代において、無いものを待たなくても得られることはないと感じた人たちが集まり、行動を始めたところが、私たちととてもよく似ていると感じました。今後は協力してトークイベントや古本市を開催するなど夢は膨らむばかりです。活動の輪が周囲に広がり、やがて文化になることを願っています。



この活動は『赤い羽根共同募金』の助成を受けて実施しています。



つづきの絵本屋

都築 照代氏

先日、念願になって…ことひらまちじゅう図書館へ！町のいたる所に本が置いてあり、人と本が繋がることのできる居場所。

何より地元に住んでおられる志を同じくする仲間が、ご縁を繋いで輪となり進めていっているのが素晴らしいと思います。

利用者からの応援メッセージ

A・Iさん（善通寺市）



息子と散歩している時、まちじゅう図書館を見つけると嬉しくなりつい立ち寄ってしまいます。図書館や本屋に向向かなくても、通りかかった時に借りて返せるので気軽に本と触れ合うことが出来てありがたいです。多すぎない冊数なので子どもがサッと興味のある本を選べる点も魅力的です。今後象郷地区にも設置場所が増えると嬉しいです。これからも活用させていただきます。

寄贈者からのメッセージ

シャルター 和子さん（デトロイト市）



ことひらまちじゅう図書館という素敵な活動にささやかながら参加させて頂き光栄です。幼児向けの英語の絵本がどなたかのお役にたてると嬉しいです。これからも応援させていただきます。

南條 茉莉子さん（今治市）



映画やドラマの放映を見て、原作で読んでみたい！と買った本ですが、ぜひ町に人にも共感してもらいたく寄贈します。

T・Kさん（丸亀市）



新聞で活動を知り、寄贈の運びとなりました。家で眠っていた本たちが誰かとつながる機会を得られて幸いです。

編集後記

誰でも本と繋がる小さな居場所が町のあちこちに有る。そこには「いつでもどうぞ」と人（図書館長）がいて、淋しかったら話もできる。なんて幸せなことだろう。ちょっぴり冷たい世の中で、有志が力を合わせ温かい活動を続ける。しかし、私たちを含め全ての人が心豊かに暮らすには、あらゆる本や情報も得られる町立図書館が必要だ。願いは叶うと信じて。

ことひらまちじゅう図書館代表 嶋田 貴子

参加館・サポータ募集中 お問い合わせ

ことひらまちじゅう図書館事務局  
〒766-0004

香川県琴平町榎井 891-1

琴平町地域福祉ステーション内

TEL 0877-75-1371

<https://kotohira-machitoshosho.com>

ことひらまちじゅう図書館 検索

